

# 實業教育費國庫補助法中改正法律案特別委員會議事速記第二號

(二七)

大正九年七月十九日(月曜日)午前十時十四分開會

○委員長(伯爵林博太郎君) 是ヨリ、實業教育費國庫補助法中改正法律案ノ特別委員會ヲ開キマス

○福原隼二郎君 一ツ此先日ノ御説明ニ依リマス、此法律案ハ第六條ノ項ニ第六條ノ二ト云フ條文ヲ御加ヘニナルノガ、一改正、ソレカラ第七條ノ八分ノ一以內ト云フノヲ、一部ト御直シニナルノガ、一改正、此二ツノ點デアリヤウデアリマス、先ヅ第一點ニ牽聯イタシテ質問シタイト思フノデアリマス、先日ノ御説明ニ依リマス、豫算ニ於テ本年度ハ十五萬圓、來年度ハ更ニ十五萬圓増加シテ三十萬圓ノ實業補習教育獎勵費ヲ御求メニナツ、其補助費ヲ各府縣ニ交付スルト云フ爲ニ、此第六條ノ二ト云フモノヲ新ラシク置カウト云フ必要カラシテ、此案ガ出タモノト承知イタシテ居ルノデアリマス、ソレデ實業補習學校ハ今日ニ於テハ一萬三千カラノ數ガアツテ、最も數ハ多ウゴザイマスガ、專任ノ教員ヲ得テ居ル學校ハ寧ロ少ナイ位デアツテ、甚ダ微々タルモノデアルカラ、切メテ一人ノ專任教員ヲ置カセル爲ニ其俸給ヲ支拂フ、其費用ヲ補助シヤウト云フ御趣意デアルト云フコトデ、是ハ實業補習教育ノ刷新ヲ圖ル爲ニ、極メテ必要ナコトデアルト思フノデアリマスガ、然ルニ此豫算ノ實業教育補助ト云フ項ヲ見マス、今日ハ一般ノ實業教育費ノ補助ト云フモノガ二十八萬圓デアリマシテ、此二十八萬圓ノ費用ヲ以テ、農工商水産各種各階級ノ學校ノ獎勵ノ補助ニ充テ、御出デニナルノデアリマス、此實業學校ハ年々發達シ、學校ノ數モ増加シ、内容モ改良シテ來ルノデアリマスガ、此二十八萬圓ト云フ金額ハ、餘程以前カラ變ラナイモノデ、寧ロ數年前ニ於テハ金額ガモト實ハ多クカッタデ、私ノ記憶スル所ニ依リマス、豫算ニ於テ三十五萬圓アツト思フノデアリマス、是ガ屢、行政整理等ノ爲ニ削減セラレマシテ二十八萬圓ト云フコトニナリ、此二十八萬圓ト云フ金額ガ數年來不動ノ額トナツテ居ルノデアリマスガ、三十五萬圓當時ニ於テモ、此ノ實業教育ノ補助費ト云フモノハ、一學校ニ對シテ交付セラレテアルモノノ見ルト、實ニ目録ノ如キモノデアツテ、獎勵ノ效力ハ無論ナク、トハアリマセヌケレドモ、十分デナクカッタノデアリマス、然ルニ二年ヲ逐ウテ實業教育ガ段々發達シテ來タニ拘ラズ、矢張り二十八萬圓ト云フコトデ續イテ居ル譯デアリマスガ、此點ニ於テハ補助費ヲ更ニ増額スル必要ト云フモノガ、餘程切

要デアアルマイカト思フノデアリマス、實業補習教育ニ對シテ、主任教員ヲ置ク爲ニ三十萬圓ヲ更ニ御出シニナルト云フコトモ、大ニ必要ナコト思ヒマスガ、又一般ノ實業教育獎勵ノ爲ニ補助費ヲ増額セラレルト云フコトモ、或ハソレ以上、少クトモソレト同等ノ必要ガアルノデアリナイカ、殊ニ此數年來各省共ニ段々諸般ノ事務ガ擴張セラレルノデアリマス、文部省ノ如キハ稍、控ヘ目ナ所デアルト思ヒマス、ケレドモ、ソレニ致シテモ種々ノ學校モ段々膨脹シテ來ルト云フノニ、實業教育ノ補助費ト云フモノガ依然トシテ元ノ儘デアアル、餘程是ガ閉却セラレテ居ルト云フヤウナ感ジヲ有ツノデアリマス、今回三十萬圓ノ實業補習教育補助費ヲ御出シニナラウト云フコトハ、誠ニ空谷ノ響音デアリマス、ケレドモ、之ヲ見マス、又隨フ得テ望ムト云フヤウニ、同時ニ實業教育費ノ補助ノ増額ト云フモノガ其以外ニ餘程必要デアリナイカ、今日ノ金額デアハ到底十分ナル目的ヲ達スルニ足ラナイデアリナイカ、之ニ付テノ御考モ承ハリタイト思フノデアリマス、又實業補習學校ハ數ニ於テ一萬三千ト申スノデアリマス、大部分ハ村落ニ於ケル農業補習學校デアリマシテ、商業工業ノ補習教育ト云フ如キモノハ、私共ノ知ツテ居ル所ニ於テハ極メテ幼稚ナモノデアツテ、將來大ニ發達獎勵シナケレバナラズ、近頃ハ東京大阪殊ニ大阪ニ於テハ大分施設ガ出來テ來タト云フコトヲ承ツテ居ルノデアリマスガ、併ナガラハ西洋各國ノ例ナドニ引當テテ見マス、同日ノ論デアアルハ、例ナドニ引當テテ、他ノ都市ニ至ツテハ實ニ幼稚ナル狀況ニアルト思フノデアリマス、ソレデ主任ノ教員ヲ置クト云フコトノ外ニモ、尙ホ此商工業ノ補習教育ト云フコトノ爲ニ、一層獎勵ヲ加ヘル必要ガアルノデアリナイカト云フヤウニ感ズルノデアリマス、ソレ故ニ私ハ此事柄ニ付テ別ニ御伺ヒスルノデアリマセヌカ、此第六條ノ二ニ依テ實業補習學校ニ主任教員ヲ置カレルト云フコトニ牽聯ヲ致シテ、尙ホ他ノ方面ニ於テモ相當ノ御施設ヲナサル必要ガアルノデアリナイカト云フコトニ付テノ御考ヲ承ハリタイトデアリマス、ソレニ付キマシテハ一般ノ實業教育ノ今日マデ發達ヲシテ來マシテ現狀ハ、又ソレニ對スル御獎勵ノ施設、今施設サレハ御計畫中デアアルヤウナ事柄ニ付テノ御話ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、ソレガ一ツノ質問デアリマス、ソレカラシテ次ニ伺ヒタイノハ、必要ナル補助金ヲ府縣ニ交付サレルト云フノデアリマスガ、必要ナル校ヲ一々指定シテ縣ニ交付ニナルノデアリマスガ、或ハ金額

ヲ各府縣ニ割當テ、何學校ニ主任教員ヲ置クト云フコトハ、府縣ノ裁量ニ任セルト云フコトデアリマスガ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、三十萬圓ト致シク所ガ學校ノ數ガ一萬三千モアリマスカラ、各學校ニ主任ノ教員ヲ置クト云フコトハ不可能ナコトデアラウト思ヒマス、極メテ十分ニ其金ヲ以テ主任教員ヲ置クコトハ出來ヌト思ヒマス、其金ヲ決メルノハ文部省デアアルカ府縣デアアルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、最後ニ御尋ネ致シタイノハ第七條ニ「八分ノ一以上トアルノヲ」一部ト御直シニナルト云フ、是ハ教員ノ志願者ニ對スル給費ヲ殖ス爲ニ「八分ノ一以內トアツテハ餘リ窮屈デアアルカラ」一部ト致シタイト云フ、サウ云フ御趣意ニ承知イタシタノデアリマスガ、從來八分ノ一ト云フ制限ノアリマシタノハ、此實業教育費ト云フモノハ、府縣以下ノ實業學校ノ教育ノ費用ヲ補助スルト云フノガ主タル目的デアツテ、教育獎勵上必要デアアルカラト云ツテ、使フ金ガ此肝腎ノ主タル補助費ヨリモ超過スルトカ、或ハ其割合ニ餘計金ヲ使フト云フコトニナツテハ、主タル目的ヲ達シナイ虞ガアルカラ、特ニ八分ノ一以內ト云フ制限ガシテアル、此制限ガナイト自然ニ此方ニ金ヲ餘計使ツテ、實業教育補助ノ目的ガ十分ニ行ハレナイト云フ弊ヲ恐レテ、八分ノ一ト云フコトニ致シタイト思ヒマス、一部ヲ制限スルト制限ハナクナリ、此方ニ幾ラ金ヲ使フテモ宜イト云フ虞ガアルト云ヘバアルノデスガ、其點ニ付テ差支ガナイデアリマセウカ、ソレモ併セテ御質問ヲ致スノデアリマス

○政府委員(南弘君) 福原サンカラ實業教育ノコトニ付テ縷々御質問デアリマス、實ハ實業教育ノコトニ付テハ私ヨリハ福原サンノ方ガ最も能ク御承知デアアルノデアリマスガ、第一ノ御質問ノ補習教育ヲ獎勵スルコトガ必要デアラウガ、又此第二條ノ實業學校ヲ獎勵スル金額モ、必要ハアリハシナイカト云フ御質問ノヤウニ承ハリマスガ、若シ出來ルナラバ此兩方ヲ何シタイト云フコトハ大體當局モ考ヘテ居ルコトデアリマス、實業學校ノ獎勵ニ付キマシテモ、今日決シテ此二十八萬圓ヲ以テ足レリトシテハ居ラナイ、元是ハ福原サンガ最も能ク御承知ト存ジマスガ、三十五萬圓デアツタノガ確カ山本内閣ノ時、福原次官ノ時代ニ減額ニナツテ二十八萬圓トナツト記憶シテ居リマス、是ハ行政整理ノ結果萬已ムヲ得ヌコトデ、恐ラクハ涙ヲ揮フ御削除ニナツト記憶シテ居リマス、將來若シ機會ガアレバ當局者トシテハ此方ニ向ツテモ出來ルナラバ前ヨリモ以上ニ獎勵ノ補助費ヲ

頂戴イタシテ積リテ居リマスガ、何分ニモ今日ハ最モ急ナルモノニ向テ先キニ致シタイ、ソレハ實業補習學校ニ專任教員ノ設置ガ、今日實業教育ヲ獎勵スル上ニ於テ最モ急ナリト當局者ハ認メマシテ、取敢ヘズ此實業補習學校ニ對シマシテ三十萬圓ノ補助ヲ認メマシテ提出イタシタ次第デアリマス、將來若シ機會ガアリマスレバ此二十八萬圓ニ對シテモ増額ハ致シタイ積リテ居リマス、ソレカラ府縣ニ配置スベキ學校ノ指定ノコトニ付テ御尋ネテアツタヤウデアリマスガ、是ハ文部省ニ於キマシテハ、大體ノ目安トシマシテハ、各府縣ニ向テ十人ト云フ見當ヲ附ケテ居リマス、サウシテ學校ノ方ハ豫メ標準ヲ決メマシテ、斯ウ云フ標準デナケレバヤライコト、シ、其標準ニ當タモノヲ府縣カラ選擇サセラル積リテ居リマス、ソレカラモウ一ツノ御質問ハ第七條ノ「八分ノ一」ヲ一部ニ改メタコトニ付テ御意見附キノ御質問ノヤウニ承ハリマシタ、是ハ實ハ此金額ノ標準ヲ第二條ノ何ニ取テ過ギナイノデアリマシテ、七條ノ補助金ト第二條ノ補助金トハ豫算ノ上ニ於テ項ガ別ニナッテ居リマス、此七條ノ「八分ノ一」ト云フコトハ第二條ノ金額ノ標準ヲ取テ過ギナイノデアリマシテ、第二條ノ金額ノ八分ノ一ヲ此處ヘ持テ來ル譯デハナイノデアリマス、其點ハ福原サンノ御心配ニナルヤウナコトハ決シテナカラウト思ヒマス、サウシテ實際ニ於キマシテハ、八分ノ一ト云フ限定ヲサレテ居リマシテハ、實業教員ノ養成ノ給費ニ來年度ニ於キマシテハ現在マデハ二十五圓デアリマシタガ、他ノ一般ノ權衡ニ顧ミマシテ之ヲ二十五圓ニ増ス積リテ居リマス、隨テ第七條ノ金額モ八分ノ一デハ支出出來ナイ、ソレデ一部ト致シタ、而カモ金額ハ決シテ第二條ノ金額ヲ喰フ譯デハナイノデアリマス、別ニ又豫算ヲ以テ御協賛ヲ願フ次第デアリマス、其點ニ付テハ御心配ニナルヤウナ弊害ハナイト存ジマス

○福原鏡次郎君 工業補習教育...

○政府委員(南弘君) 尙ホ此商工補習教育ノコトニ付テモ、實ハ聽漏シマシテ相濟ミマセヌガ、無論此實業補習教育モ商工ノ補習教育ニ及ブ次第デアリマスガ、三十萬圓ト云フコトハ今日取敢ズ專任教員ノ設置ニ向テ支出スル積リデアリマス、將來ハ此實業補習教育ノ施設ノ上ニ於テ必要ナル以上ハ、相當ノ増額ヲ致シタイ、又致スコトニナルダラウト思ウテ居リマス

○荒川義太郎君 私モテヨト御尋ネシテ見タイデスガ、今福原サンカラモ實業學校ノ狀況ノコトヲ御尋ネニナツタヤウデアリマスガ、マダ御返事ガナイヤウデアリマスカラ、ソレニ附加ヘテ御尋ネシテ見タイノハ、實業學校ノ今日ノ狀況ハ如何デアリマスルカ、其成績ヲ伺ヒタイノデアリマスルカ、元來此實業學校ヲ府縣デ以テ一時非常ニ我モ彼モト云フヤウ

ナ譯デ以テ、補助金ヲ貰テ、追々實業學校ヲ建ツトデアリマスガ、併シ中ニハドウモ殆ド學校ハ建テ、見タケレドモ、生徒ハナイ、ソレデ已ムナク或ハ府縣ニ依ルト云フト郡長ナドニ命ジテ、各生徒ヲ募集ヲ獎勵スルコト、或ハ場合ニ依ルト云フト、補助金ヲ得テ這入ルヤウニ促シカ、ソレデモ足りナイト云フ時ニハ已ムヲ得ナイカラ、他ノ府縣ヘ持ッテ行ッテ隣縣ノ生徒ヲドウカ入レテ呉レナイイカト云フヤウナコトヲ言ッテヤタモノガ隨分アルノデアリマス、ソレカラソレノミナラズ或ハ其府縣ニ：ドウモ餘リ府縣トシテハ、或ハ關係ノナイ山間僻地ニ持ッテ行ッテ、商業學校ヲ建テルト云フヤウナ風ナコトモアツタヤウニ記憶シテ居リマスガ、ソレドウモ維持上ニ頗ル困難ヲシテ、又場合ニ依ルト云フト獎勵金ヲ、所謂補助金ヲ取ル爲ニ學校ヲ建テ、補助金ノ年限ガ切レテ仕舞フト云フト學校ノ維持ガ出來ナイデ、廢メテ仕舞フト云フコトモ隨分アルノデアリマス、ソレデ私共ハ當時此府縣ニ居ッタ時分ハ隣府縣デ實業學校ヲ建タシテ置イテ、其縣ヘ生徒ヲヤルコトガ一番利益ダト云フコトヲ思タコトガアリマス、隣縣ヘ入レルト有難ガツテ、學校生徒ヲ寄越シテ貰フト喜ンデ居ッテ、此方ハ一文モ金ヲ出サナクテ、餘所ノ學校ヘ入レルコトガ出來ルト云フヤウナコトガアツタノデアリマスガ、免ニ角此實業學校ナリ又實業補習學校ト云フヤウナ風ノモノ、狀況ヲ一通リ伺ヒ置キタイト思ヒマス

○政府委員(山崎達之輔君) 實業學校ノ狀況ノ概要ヲ申セト云フ御要求デアリマスガ、先ツ簡單ニ極ク大要ノ所ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、現在此實業學校ハ段々ト發達ヲ致シテ參リマシテ、學校ノ先ツ數ヲ申上ゲマスルト凡ソ六百、補習學校以外ノ實業學校デアリマスガ、六百餘リニ達シテ居ルノデアリマス、其志願者ノ狀況ハ是ハ土地ニ依リマシテ勿論違ッテ居ルノデアリマスケレドモ、又學校ノ種類ニ依テ違ヒガアリマスルガ、大體ニ於テ實業學校ノ志願者ハ近來非常ニ殖エテ參リマシテ、例ヘバ商業學校ノ加キハ全國ヲ通ジマシテ、志願者ハ三倍以上ニナッテ居リマス、收容量ニ對シテ三倍以上ニナッテ居リマス、場合ニ依ッテハ五倍モ六倍モ志願者ガアルト云フヤウナ所ガアリマス、ソレカラ工業學校モ、商業學校程デアリマセヌケレドモ、是モ一ツハ最近數年ノ時局ノ影響ニ依ル現象デアラウカト思フノデアリマスケレドモ、餘程志願者ガ殖エテ參リマシテ、是モ大體三倍近クノ：全國ヲ通ジマシテ三倍近クノ志願者ガアリマス、唯農業學校ガ割合ニ他ノ種類ノ學校ニ比シマシテ志願者ハ多クアリマセヌ、尤モ此甲種程度ノ農學校ハ二倍程デアリマセヌケレドモ、約二倍ニ近イ志願者ヲ見テ居ルノデアリマス、唯乙種ノ方ガドウモ其志願者ガ十分デナイノデアリマス、併ナガラ是モ荒川サンノ御話ノヤウニ數年前デ

アリマシタヤウニ志願者ヲ勸誘シナケレバ學校ガ成立タヌト云フヤウナコトハ最近ニ於キマシテハ殆ドナイヤウデアリマシテ、學校ノ定員或ハ定員以上ノ志願者ハ、多クノ學校ニ於テ見テ居ル位デアリマス、大體ニ於キマシテ今申上ゲマスヤウニ志願者ハ非常ニ殖エテ參リマシテ、今日ノ實業學校ノ施設ヲ以テシテハ到底満足スルコトガ出來ナカラウト思フ位デアリマス、是ハ或ル意味ニ於テハ非常ニ結構ナコトデアラウト思ヒマス、ソレカラ其學校ノ内容デアリマスガ、是モ固ヨリ地方ニ依リマシテ非常ニ異同ガアル譯デアリマスケレドモ、大體ニ於キマシテ甲種程度ノ學校ハ、多ク是ハ府縣デ經營イタシテ居リマスカラ、此方ハ經費等モ相當ニ出シテ居リマスガ、多クハ二萬圓乃至三萬圓位ノ經費ヲ一學校ニ投ジテ居ル位デアリマスカラ、マダ十分ハ申上ゲラレマセヌケレドモ、從來ニ比シマシテハ多少内容モ充實シテ來テ居ルト言ッテ宜シト思ヒマス、是モ矢張り乙種ノ郡立以下ノ學校ニ於キマシテハドウモ甚ダ不完全デアリマス、尤モ是等モ數年前ニ於テハ經費ガ二千圓トカ、三千圓トカ四千圓ト云フヤウナ極ク小サイ學校ガ多クアツタノデアリマスケレドモ、今日ニ於キマシテハ乙種ノ學校デ一万圓以上ノ經費ヲ使ッテ居ル所モ往々アルヤウデアリマス、全國平均シマシテモ七八千圓ハ一學校ニ使ッテ居ルヤウナ狀況デアリマスカラ是モ數年前ニ比ベマシテハ餘程良クナッテ居ル譯デアリマスケレドモ、併シ他ノ種類ノ實業學校ナリ、或ハ中學校等ニ比ベマシテハ、マダ餘程是ハ改善ノ途ガ多カラウト考ヘテ居リマスガ、何分是ハ多クハ郡立以下ニナッテ居リマスカラ、ドウモ思フヤウニ參リマセヌ譯デアリマス、ソレカラ學校ガ漸次殖エテ參リマス狀況ヲチヨット序ニ申上ゲマスルト、此最近二三年ハ餘程學校ガ殖エマシテ、例ヘバ大正八年度ニ實業學校ノ増設ヲ新規ニ計畫イタシマシタモノガ凡ソ五十バカリ各地方デアツタ、大正九年度ニ於テハ新規ノ増設ヲ計畫シタモノガ三十餘リアリマス、デ本年ノ四月ニ、詰リ前年ノ計畫ニ依ルモノ及ビ本年ノ計畫ニ依ルモノデ本年ノ四月ニ新規ニ開校イタシマシタモノガ、三十六校デアリマスヤウナ狀況デアリマス、此二三年ノ所ハ非常ニ勢ヲ以テ殖エテ參ッタノデアリマスガ、是モ矢張り時局ノ影響ニ刺戟サレタモノデアラウト思ヒマスノデ、今後果シテ此勢ヲ以テ進ミ、得ルカ、ドウカ其點ニ付テハ私ト致シマシテモ餘程懸念ヲ有ッテ居ル譯デアリマス、出來ルコトデアレバ此勢ヲ今後モ持續シテ行ッテ、十分實業教育ノ發達ヲ期シタイト云フ念慮ヲ有ッテ居ル譯デアリマス、大要申上ゲマスレバ右ノヤウナ狀況デアリマスガ、尙細カイ點ニ付キマシテ申シ漏シテ居ル點ガアリマスレバ、御尋ネニ應ジマシテ御答ヲ致シマス

○北條時敬君 今日ハ遅刻ヲ致シマシテ唯今出席ヲ致シ

マシタノデアリマスガ、既ニ皆サンヨリ御尋ネニナッテ御答辯ヲ得テ居ルカモ知レマセヌガ、私ハ實業補習教育ノ狀況ニ付テ、少シ御尋ネシテ置キタイト思フノデアリマス、實業補習教育ノコトハ成ルベク完全ニ充實スルヤウニ致サナクチャナラス事柄デアリマスガ、其實業補習教育ノ府縣ニ於ケル、或ハ町村ニ於ケル所ノ計畫ガ、成ルベク完備シテ計畫ヲ立テ、サウシテソレニ要スル所ノ教師ノ供給ト云フモノモ適當ニセナクチャナラスト思フノデアリマス、近來ノ補習教育ノ是ハマア段々進歩スルグラウト思ヒマスガ、進歩ノ情勢ガドウ云フコトデアリマスガ、其實業補習教育ノ教員ノ供給ト云フモノモ矢張り其小學校ノ先生ナンゾ片手間ニヤッテ居ルモノモ多イト思ヒマスガ、適當ナ矢張り専門家ヲ頭ノアスト思ヒマス、今度ノ實業補習教員ノ養成ト云フコトハ、是ハ實業學校ノ教員ノ供給ニハ餘程効ハ有ラウト思ヒマスガ、實業補習教育ノ方面ニ對シテモ、何等カ今度ノ改正ト云フモノハ、意味ヲ有シテ御計畫ニナッテ居ルモノデアリマスガ、ソレ等ノ狀況ヲ承リタイノデアリマス、既ニ御尋ネニナッテ居ルコトデアレバ、後程書付ヲ拜見イタシテ承知シテモ宜シウゴザイマス、又質問モナイト云フコトデアリマスレバ、當局者ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(山崎達之輔君) 補習教育ノ概況ニ付テノ御尋デゴザイマスガ、是ハ段々文部次官カラモ概要ヲ申上ケマシタヤウニ、最近ニ於キマシテハ學校ノ數ナドハ大分殖エテ參リマシテ、一万三千餘ニ達シテ居ルヤウデアリマス、平タク言ヘバ普及致シマシタケレドモ、併ナカラ其内容ニ於キマシテハ極メテ不完全、不十分ナモノガ多イヤウデアリマス、ソコデ先ヅ最近數年ノ變化ノ狀況ヲ大要申上ケマス、學校ノ數ニ置キマシテハ、大體年々一割位ノ増加ヲシテ今日迄來テ居リマスヤウナコトデアリマス、ソレカラ經費デアリマスガ、經費ハ是非非常ニ不完全デアリマス、大正六年度最近數年ノ増加ノ率ハ非常ニ宜イ譯デアリマス、大正六年度ニ於キマシテ、全國ノ補習學校ノ經費ト云フモノガ凡ソ百萬圓位デアリマス、ソレが大正七年ニ於キマシテ八百八十萬圓位ニ達シマシテ、ソレカラ大正八年ニ於キマシテ八百十五萬圓位ニナッテ居リマス、大正九年ニ於キマシテ八百四十萬圓ハ超エテ居ルデアラウト思ヒマス、而シテ此一學校ノ經費ノ平均ノ如キモ、實ハ大正六年頃ハ、其當時ハ實業補習學校ハ八千圓位デアリマシタ、而シテ年額三十圓カ四十圓カト云フ平均ニナッテ居リマシタノデアリマス、ソレガ全國押シナラシマシテ約三百圓内外ノ平均ニ達シタヤウナコトデアリマス、尤モ此商工ノ補習學校ノヤウナ、大都會地ニ在リマス學校ハ、是ハ一學校ニ相當ノ經費ヲ使ッテ

居ルノモアリマス、例ヘバ大阪デヤッテ居リマス補習學校ノ如キハ、年額二三十萬圓ハ使ッテ居リマス、普通ノ小都市ニ在リマス學校ニシマシテモ、商業ニ於キマシテ七八百圓、工業ハ無論千圓以上ニモ達シテ居ルモノガアリマス、又農村ノ方ハ如何ニモ貧弱デアリマス爲ニ全國ヲ通ジマス、今日ニ於テ尚ホ三百圓、斯ウ云フ位デアリマス、ソレカラ學校ノ授業ノ狀況ハ、是ハ先ヅ商工業ノ補習學校ハ大體二年乃至三箇年位ノ年限デアリマス、特別ニ年限ノ長イノ村ノ補習學校ハ少シ趣ガ違ヒマシテ、特別ニ年限ノ長イノガ多イノデアリマス、所謂青年團ト云フモノト、補習學校ト云フモノノ、限界ガ餘リ明瞭デナイヤウナコトデアリマシテ、地方ニ於キマシテハ滿二十歳マデ補習學校ニ籍ヲ置イテ居ルト云フヤウナ所モ、近頃段々殖エテ參リマシタ、併ナカラ總タ授業ヲヤリマスノハ、矢張り是モ尋常ヲ出マシテカラ、二年或ハ三年ト云フ位ナノガ多イヤウデアリマス、ソレカラ全體ノ生徒ノ數デアリマスガ、是ハ誠ニ實ニ統計ガ不十分デアリマシテ、正確ナモノヲ申上ゲルノハ少シ躊躇イタシマス、レドモ、ト申シマスルノハ補習學校ノ生徒ニハ非常ニ出入ガ多イ譯デアリマス、籍ヲ置イテ居ルト云フモノ、果シテ完全ニ出席致シテ居ルカ、其邊ノコトモ思ハレマス、詰リ曖昧ナノガ多イヤウナコトデアリマス、數モ從テ曖昧ナモノデアリマス、併シ大體今日ニ於キマシテ全國ヲ通シテ八十萬内外ニ達シテ居リマス、是モ年々餘程ノ率ヲ以テ殖エテ參テ居ル狀況デアリマス、ソレカラ教員養成ノコトデアリマスガ、是ハ從來ハ殆ド補習學校ノ爲ニ特別ニ教員養成ノ方去テ講ジテ居ル所モナカッタノデアリマスガ、近來ハ幸ニ各府縣ニ於キマシテハ農業補習學校ノ教員ニ付キマシテ、特別ニ養成機關ヲ設置シテ參リマシテ、ソレガ段々殖エテ參リマシタ、今日ニ於テハ二十六縣バカリノ農業補習學校教員養成所ヲ設置スルコトニナリマシテ、ソレガ多クハ甲種農學校ノ卒業生ヲ一箇年位收容イタシマシテ、教育教授法ヲ農村經濟及ビ農業科目ト云フモノヲ大體授ケテ居リマスノデアリマス、二十六箇所デアリマス、是モ文部省ト致シマシテ、凡ソ六百餘デアリマス、是モ文部省ト致シマシテ、十分獎勵ヲ怠ラヌヤウニ致シテ居リマス、是亦從來餘リナカッタノガ本年度カテ二十六縣バカリ置クト云フ位ニナリマシテ、來年以後ニ於キマシテハ、尙ホ増加スルコトデアラウト考ヘマ、唯此商工補習學校ノ教育デアリマスガ、是ダケハドウモ地方デ養成スルト申シマシタ所ガ、ナカ、簡單ニハイカヌコトデアリマス、今日ニ於キマシテ大體ノ普通ノ中等程度ノ實業學校教育資格ヲ持ッテ居ル者ガ、矢張り補習教育ニ從事シテ居ルヤウデアリマス、是ニ付テハ文部省トシマシテ

ハ特別ノ養成機關ハ今日持ッテ居ナイ譯デアリマシテ、此件ニ付キマシテハイロ、今研究イタシテ居ル譯デアリマス、大要申上ゲマシタヤウナコトニ付テ御了承ヲ願ヒマス

○男爵阪井重季君 チョット伺ヒマス、此第二條デアリマス、主務大臣ガ前條金額ノ範圍内ニ於テ補助サレルト云フコトハ、是ハ間接ニナルノデアリマスガ、建築ノコトニモ是ハ金ヲ補助セラル、カ、建築費ハ別デ、教育ニ掛ケル方デナケレバヤラスト云フコトナラバ、教育ノミナラス學校ヲ建テルカフ、擴張ト云フコトナラバ、教育ノミナラス學校ヲ建テルカラシテ、金ガ欲シイト云フコトデアリマスガ、建築ニモ補助サレルカ、建築ニハ補助ハセヌ教育ノミニ掛ケルコトカ、ソレカラ私モ不案内デアリマスガ、是マデモ金額ガ二十八萬圓ト云フコトデアリマスガ、承リマスガ、果シテ二十八萬圓デアリマシタモ、今度三十萬圓ニナサルト云フコトナラバ、僅カ二萬圓位ノ増額ニシカナラヌヤウデアリマス、ソレ位ノ増額デ丁度現今ノ經濟、現今ノ程度ニ合シテ、二萬圓増加スレバ今日ノ程度ヲ満足スルコト云フコトデアリマスガ、ソレカラ此全國ノ學校ノ數ガ一万三千程モアルト云フコトニ承リマシタ、是ハ實業學校ト實業補習學校ト合セテ數デアリマスガ、是ハ補習學校ト云フコトデアリマスガ、又合セテナラバ實業學校ハ何ボ、補習學校ガ何ボデアリマスガ、斯ウ云フコトヲ承リタウゴザイマス、ソレカラ此學校ノ農業學校甲乙ノ別ガアルヤウニ説明デアリマシタガ、此甲ト乙トノ別ハドウ云フ譯デアリマスガ、是モ序ニ承リタイノデアリマス

○政府委員(山崎達之輔君) 唯今ノ御尋ノ現在ノ二十萬圓ハ各學校ニ於テハ建築費ノ方ニモ補助シテ居ルカト云フノ御尋デゴザイマスガ、唯今ノ所デハ大體經常費ニ對シテ補助スルコトニ云フコトニ對シマシテ、ソレカラ臨時費ニ補助スルコトモアリマスガ、ソレハ多クハ機械器具ヲ購入スル場合ニ補助ヲ致シテ居リマス、教室ノ建築等ニ對シテノ補助ハ格リモアリマセズ今日デヤッテ居リマセヌ、ソレカラ三十萬圓ニ付テノ御話デアリマスガ、是ハ二十八萬圓ノ外ニ三十萬圓ヲ増額スルノデアリマス、詰リ五十八萬圓ニナルノデアリマス、一万三千圓ハ是ハ補習學校ト云フモノデアリマス、普通ノ實業學校ノ數ハ包含イタシテ居リマセヌ、ソレカラ甲種乙種ノ御尋デアリマスガ、現在此甲種ト申シマスノハ、詰リ中學ト同ジヤウナ形ヲ以テ實業ノ各科目ヲ入レテ居ル、即チ年限ニ依テ中學ト同年限ヲ備ヘテ居ルモノデアリマス、乙種ハソレ以外ノモノヲ包括シテ、乙種ト唯今ハ申シテ居リマス、モット低イモノモアルノデアリマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 別ニ御質問ハアリマセヌカ

○荒川義太郎君 モウ一遍伺ッテ置キマス此法律案ガ決

議ニナリマシタ年度カラ、十五万圓ヲ、所謂三十万圓ノ半分ヲ追加豫算トシテ出サレテアル、教育ガソレニ依テ好成績ニナルト云フコトデアリマスガ、學校ノ計畫ト云フモノハ詰リ學期ノ始メニ於テ定メテ居ルモノデアリマスカラ、之ヲ今半年度分ヲ置イテ是カラ之ヲヤルト云フコトニ致シマシテモ、夫ダケノ效果ガナイノミナラズ尙ホ面白クナイヤウニモ考ヘマスガ、例ヘバ教員ヲ是カラ一人少、増ス、年度半ニ探シテ來テ入レテ見タ所デ、半バカラノ人ガ教ヘルト云フコトハ餘程面白クナイヤウニモ考ヘマスガ、斯ノ如キ風ニナリマスト云フト、此追加案トシテノ此豫算ノ方ヲ見テモ此議會ニ出サレルノハ、如何デアリマセウカ、却テ效果ガナイヤウナコトニナル、或ハ案トシテ直チニ施行ニナルコトニナリマストドウモソレダケノ效能ガナイヤウニ考ヘマスガ、其邊ノ事ニ付イテハ如何ナル御意見デアリマスガ政府委員ニ伺ヒタイ、序ニ一寸伺ヒ置キマスガ是マデノ實業學校デ此補助ヲシタ内デ廢校ニナタモノガアリマスカ、數ガ何校程アリマスカ、序ニ伺ヒ置キマス

○政府委員(山崎達之輔君) 第一ノ御尋ネデアリマスガ、一應御尤ノ御尋デアリマスグレドモ、此補習學校ハ普通學校トハ餘程越ガ違ヒマシテ、四月一日ニ學年ヲ始メテ三月末ニ終ルト云フヤウニキチントシタモノデアリマセヌ、殊ニ此農村補習學校ノ如キハ、季節デヤテ居ル學校ガ多イヤウナコトデアリマスカラ、從テ是ガ年度ノ途中ニナリマシタ所デ、決シテ效果ハ不十分デアル、サウ云フコトハナカラウト思フ譯デアリマス、ソレカラ之ガ追加豫算トシテ出タガドウデアアルカト云フ御意見デゴザイマシタガ、補習教育ト云フモノヲ免ニ角今日ノ自然ノ儘ニ、自然ノ發達ニ任セルコトデアハ誠ニ遺憾ヲ感ジマスノデ、ドウシテモ此上ニ一ツ大キナ刺撃ヲ與ヘテ更ニ大ニ刷新スルコトハ出來マセヌケレバ、長年ヲ立チマスルガ相當ニ發達スルコトハ出來マセヌ、如何ニモ不満足ノ狀態ニアル譯デアリマス、全國ノ教育ノ施設、又國全體カラ見マシテ補習教育ノ施設ハ餘程急ヲ要スルコトデアラウト云フ考カラ、特ニ今回追加豫算ヲ出シマシタ、殊ニ前回以來ノ計畫問ノ補助ヲ受ケテ居ル學校デ廢校シタモノノガアルカト云フ御尋ネデアリマスガ是ハ絶對ニ廢校シタモノノハ餘リナイト記憶致シテ居リマス、唯學校ノ種類ヲ變更シタモノハ相當ニ數ガアルヤウデゴザイマス、例ヘテ申シマスルト、此女ノ方デ學校ト申シテ居リマスガ裁縫ヲ主トシタル學校デ、サウ云フモノノ形式ハ廢校イタシテ、之ヲ高等女學校ニ變更スルト云フヤウナ例ハ相當多イヤウデアリマスガ、絶對ニ廢校シタト云フモノハ餘リナイヤウデアリマス、是ガ溯テ見マシタナラバアルカモ知レマセヌガ、其數ハ今記憶シテ居リマ

セヌ

○荒川義太郎君 モウ一回伺ヒ置キマス、今ノハ意見ノ衝突デ已ムヲ得マセヌカラ別ニ伺ヒマセヌ、是ハ小サナ問題ノヤウデアリマスガ、先刻モチヨト御話ガアッタヤウデアリマスガ、此第二條ノ此實業補習學校ニ交付スルト云フノハ是ハ府縣ニ、今度六條ノ二ニ依ルト實業教育ノ補助金ハ北海道府縣ニ對シ實業補習教育獎勵ニ必要ナル補助金ヲ交付スルトアリマスガ、二條ニ此學校ニ補助スルト云フモノハ學校ニ補助ニナルノデアリマスガ、府縣ニ補助ニナルノデアリマスガ、私共ノ考デハ矢張り府縣ニ補助ニナルモノノハナイカト思フ、府縣ノ豫算ニ入レテ府縣ガ整理スルモノ、ヤウニ考ヘマスガ、サウスルト六條ト同ジヤウナコトニ、實體ニ於テナルヤウニ考ヘマスガ、如何デアリマスガ

○政府委員(山崎達之輔君) 金ノ這入りマスノハ固ヨリ府縣ノ經濟ニ御話ノ通り這入マスガ、併ナガラ文部大臣ガ其補助ヲ致シマスニハ、例ヘバ東京ノ第一商業學校ナラ商業學校ノ爲メニ幾ラノ補助ヲスルト云フコトニナリマシテ、詰リ補助ノ目的ハ學校ノ學年ガ學校ノ目的ニナテ居リマス、從テ其學校ノ成績ガ惡クレバ取り上ゲルト云フ規定モアルノデ、何學校ニ補助ヲ貫ヒタイ、ト個々ノ學校ニナテ居リマス、所ガ補習學校ヲ拵ヘ、何學校ニ對シ幾ラ、何學校ニ對シ幾ラト云フ個々ノ學校ニ對シテ補助金ヲ出スト云フコトハ誠ニナンノコトデアリマス、ミナラズ、便宜ノ上カラ致シマシテ、夫ヲ府縣ニ纏メテ五千圓トカ六千圓ヤリマシタ方ガ獎勵上適切ニ行クデアラウト云フ考デアリマス、從テ二條ノ場合トハ金ノ這入ル具合ガ同ジコトニナリマセヌ、方法ニ於テハ餘程違ガアルト思ヒマス

○荒川義太郎君 モウ一回伺ヒ置キマスガ、今ノ御話ニ依リマスルト六條ニ依テ補助ニナルモノデアリマスカラ、文部省ノ御監督上デ此府縣ニ御任セニナテ、其成績ガ惡イト云フコトガアレバ補助ヲ取り上ゲルト云フコトガ出來ルコトデアリマスガ今ノ御話デハ一方ニ學校ヲ指定シテヤテ、ソレデ其學校ノ成績ガ惡クレバ補助ヲヤルト云フコトハ出來ナイト云フ御話モアリマスガ、六條ノ方ニハ府縣ニ任セテ學校ガ指定ニナテ居リマシテ、或ル一部ノ學校ガ惡イト言テモ別ニ補助ヲ取上ゲルト云フコトハ御監督上ナサレヌノデアリマスガ

○政府委員(山崎達之輔君) ソレハ大體府縣知事ニ任ス積リデアリマス詰リ第六條ノ、主務大臣補助ヲ受クル學校ノ管理不適當ナリト認メタルト云フコト云フコト、此箇條ハ六條ノ二ニ依ル補助金ニモ適用ノ出來ル考デ居リマス、之ヲ府縣知事ニ任シテ置イテ、不都合ハナカラウト思ヒマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 別ニ御質問ハゴザイマセヌカ、御質問ガゴザイマセヌケレバ討論ニ移リマス、御意見ガアリマスナラバ……

○北條時敬君 大體本案ニ賛成デアリマス、茲ニ少シ意見ヲ申述ベテ置キタイト思フデアリマス、此私ハ實業教育員養成ト云フコトノ方ハ、是ハ比較ノ容易ク出來ルノデアリマスルガ、比較ノ二格別ノ計畫ヲ立テルト云フヤウナ面倒ハナカラウト思ウテ居リマス、唯ムツカシクハ實業補習教育ト云フモノハ、餘程有效ニ行ハレカト云フ風ノコトデ今日ハ餘程ムツカシク、餘程働キノ要ル教育事業デアルト思フテ居ルノデアリマス、私ハ實業補習教育ニ付イテ一應希望ヲ申述ヘテ置キタイト思フデアリマス、ソレハ實業補習教育ニ付イテハ、此府縣ハ府縣デ中央デ實業補習ニ付イテ或ハ農業ナリ、商工業ナリ實業ト云フ風ノモノハドウ云フ風ニシテ補習ヲシテ行クト云フコトハ、師範學校ナリ府縣廳ノ視學ナリノ方ニ於テ考究モシ、又師範學校アタリデハ師範學校ニ關係ノアル所ニ職員ガ其町ニ於テ實行モシテ見ル、或ハ附屬學校ニ於テ實行モシテ見ル、研究シナケレバナラヌ、計畫自身餘程周密ナ計畫ヲ立テ、效果ヲ十分ニ舉ゲルヤウニ方法ヲ完全ニシナクチャナラヌト思フデアリマス、府縣ノ實業補習教育ノ考究ト云フ事業ヲ、適實ニ行ハシムルト云フヤウニアリタイト思フデアリマス、又之ヲ纏メテ各府縣ノ實業補習教育ニ付イテハ、當局ノ者……ソレ等ノ實際ニ當テ居ル教員ノ働キノアルヤウナ者ヲ、矢張り文部省アタリデ中央ニ御集メニナテ面白イ……有效ナ講習ノヤウナモノヲ御企テニナルヤウナコトニシテ、中央ノ方ハ中央デ府縣ハ府縣ノ中央デ計畫ヲシテ、而シテ實業教育ニ從事スル教員ヲ得ルト云フコトノ方ニ致シマシテ、サウシテ初メテ實業補習教育ノ效果ヲ完全ニスルト云フコトノ本ニナルト思フノデアリマス、此實業教育ノ補助ト云フ意味デ府縣デ云フト府縣ニ御與ヘニナル時ニ、御注意ニナテ御與ヘニナテ、文部省ニ於テモ實業補習教育ト云フコトニ付イテ、將來適當ナ講習事業ト云フモノヲ御興シニナルコトヲ希望致シマスノデアリマス、ソレダケノ私ノ意見デアリマス、本案ニ付テハ大體此儘デ宜カラウト思ヒマス

○福原鏡二郎君 本案ニ賛成

○政府委員(南弘君) チヨト御參考マデニ申シマス、補習教育ハ是ハ實ハ實業教育ノ全體ニ付キマシテ、實業教育ノ制度ノ設ケラレタノハ、非常ニ古イコトデ、其後一二回改正ガアリマシタガ、實ハ或ハ時代ニ適應シナイコトモアルデアラウ、先般來此委員ヲ内々設ケマシテ調査ヲ致シマシテ、既ニ完了致シマシタモノモアリマスルガ、是カラ調査ニ着手スルモノモアリマス、殊ニ實業補習教育ニ付イテモ十分ニ

考究ヲ致シマシテ、サウシテ一定ノ準則モ設ケンレ、調査ノ結果實際ニ之ヲ現ハシタイト思ヒマシテ、目下努力致シテ居ルヤウナ次第アリマス、ソレカラ補習教育ノ講習會ト云フコトニ付キマシテハ、此實業教育費ノ中ニ僅カバカリ金ヲ見積リテ居リマス、將來是等ノコトモ十分ニ講習會モ催シタイト云フ考デ居リマス、御參考マデニチヨット……

○子爵野村益三君 私ハ本案ニ付イテハ少シモ異議ハナクイデアリマス、唯採決サレムトスル場合ニ於テ、今マデノ當局者カラ伺ヒマシタ事實ニ依テ、願ハクハ本特別委員會ノ一同ノ希望トシテ、當局者ニモ御勸考ヲ願ヒタイト云フコトハ外デモアリマセヌガ、先刻カラ御話ノ次第ニ依リマシテモ、實業教育獎勵費ノ如キハ、一日モ早ク増額ヲ願ヒタイ、而シテ又實業補習教育獎勵費ニ對シテハ、出事得ベケンバ成ルベク速ニ御増額ニナルト云フコトハ言フマデモナイ話デアリマス、而シテ又實施ニ付キマシテモ方法ニ付キマシテモ、尙ホ一層ノ御努力ガア、然ルベキモノデアラウ、御獎勵ガアテ然ルベキモノデアラウト、斯ウ云フ風ニ一段ニ考ヘテ居リマス、是等ノ意見ハ想フニ諸君ノ等シク御感ジニナッテ居ル所ト思ヒマス、今ヤ採決サレル場合ニ於キマシテモ、願ハクハ此特別委員會ノ一同ノ希望ト云フヤウナコトニ御採決ガアタナラバ非常ニ國家ノ爲ニハ幸福デアラウトス様ニ考ヘルデアリマス

○男爵阪井重季君 私ハ本案ニ賛成シマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 唯今ノ野村子爵ノ御希望ハ、皆様ノ御希望トシテ宜シウゴザイマスカ

〔贊成〕異議ナシト呼フ者アリ

○荒川義太郎君 私ハモウ一言希望ヲチヨット是非申シテ置キタイト思ヒマス、段々是ニモ北條君ナリ其他カラ御意見モアリマシタ通り、此實業教育ノ補習ト云フコトハ……補習學校ト云フコトハ、固ヨリ非常ニ宜イコトデアハリマス、ソレト同時ニ最モ此効果アラシムルヤウニスルト云フコトモ中々容易ナコトデアアルマイト思ヒマス、ソレデ數モ随分多イコトデアリマス、免ニ角此補助金ヲ出シテ之ヲ獎勵スルト云フ以上ニハ、十分効果ヲ奏スルヤウニシタイト思ヒマス、只今政府委員ヨリ承ハル所ニ依リマス、實業學校ハ直接監督シテ何スルガ、此補習學校ニ至ッテハ府縣知事ニ任シテ置イテ、之ガ效果ノ舉ガラナイヤウニナッテモ、別段文部省カラ立入ラテ、學校ニ講習ヲサセルトカ云フヤウナコトハ無イト云フ御話デアリマス、サウ云フ風ニナリマスト云フト、如何ニモ此補習學校ハ府縣知事タケニ任セテ置イテ……御監督ニハナッテ居ルノデゴザイマセウガ、十分ナル所ノコトヲナスヤ否ヤト云フコトニ付テ頗ル疑ヲ生ジテ參リマス、私ハドウカ政府ニ於テハ、無論府縣知事ニ御任

セニナルト云フコトハ宜シウゴザイマセウガ、其上ニ十分御監督ニナッテ、矢張り實業學校同様ニ十分御監督ニナッテ效果アルヤウニ、政府ニ於テハ努メラレルヤウニ私ハ望ミマス

○政府委員(南弘君) 御參考マデニ申上ゲテ置キマス、荒川サンノ御心配ノ點ハ御尤ニ思ヒマス、政府ハ各府縣ニ對シテ補助金ヲ交付スルニ方リマシテ、嚴重ナル條件ヲ付ケテアリマス、學校ノ……補助ヲ受ケルベキ學校ノ資格ニ付テ色々條件ヲ付ケテ、其條件ヲ具備シタモノデナケレバ、府縣ト雖モ補助サセナイト云フコトニシテ居リマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 野村子爵、北條君其他ノ御希望ノ點ハ政府ニ於テハ御同意下サイマスノデスカ

○政府委員(南弘君) 其コトニ付テ御參考ノ爲ニ申上ゲマスガ、無論其點ハ先程福原サンノ御希望モアリマシテ、將來ハ成ルタケ増額イタシタイト思ヒマス、併シ文部省ノ方針ニ於キマシテ、緩急其宜シキニ應ジテ行フベキコトデアリマス、今直チニ明年ニ於テ増額出來ルカドウカト云フコトハ、直チニ申上ゲ兼ネマス、將來ニ於テハ是非増額イタシタイト云フ希望ハ持ッテ居リマス

○委員長(伯爵林博太郎君) ソレデハ討論ヲ終結イタシマシテ、採決イタシマス、實業教育費國庫補助法中改正法律案ハ政府提出通り御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アル

○委員長(伯爵林博太郎君) 全會一致可決イタシマシタモノト認メマス、是ニテ此特別委員會ヲ散會イタシマス

午前十一時十五分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵林 博太郎君  
副委員長 子爵大給 近孝君  
委員 子爵野村 益三君  
北條 時敬君  
荒川 義太郎君  
男爵阪井 重季君  
福原 錦二郎君  
男爵岩佐 新君

政府委員

文部次官 南 弘君  
文部省實業學務局長 山崎 達之輔君

大正九年八月九日印刷

大正九年八月十日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局